



令和5年7月20日
陸沢町上之郷1736
陸沢町立陸沢こども園
TEL0475-44-0050



6月に植えた夏野菜もすくすく大きくなっています。梅雨が明けると、子どもたちの興味のある、セミやカブトムシ・クワガタなどの夏の虫の季節がやってきます。虫を見つけると、図鑑で虫の名前や、飼い方を調べる子どももいて、図鑑の周りには子どもたちが頭を寄せ合って見えています。
1号認定児のお子さんは、明日から夏休みになります。怪我や事故に十分気を付けていただき、夏の思い出を作ってください。2・3号認定児のお子さんは、園生活の中で、夏ならではの遊びを取り入れていきたいと思ひます。

8月のねらい

- 0歳児・暑い夏をゆったりと心地良く過ごす。
 - ・保育者と一緒に興味のある遊びや夏の遊びを楽しむ。
- 1歳児・一人一人の体調に気を付けながら、暑い夏を快適に過ごす。
 - ・保育者と一緒に水遊びや感触遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。
- 2歳児・身の回りのことを自分で行いながら、暑い夏を元気に心地良く過ごす。
 - ・保育者や友達と一緒に様々な感触を味わいながら、夏の遊びを楽しむ。
- 3歳児・夏の生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。
 - ・夏ならではの遊びを、友達や保育者と一緒に思い切り楽しむ。
 - ・身近な夏の自然に親しむ。
- 4歳児・友達と一緒に夏ならではの遊びを存分に楽しむ。
 - ・夏の自然に触れる中で、感じたことを伝えたり聞いたりする楽しさを味わう。
 - ・夏を健康に過ごすための生活の仕方が分かり、進んで行う。
- 5歳児・夏を健康に過ごすための生活習慣を身に付け、元気に過ごす。
 - ・夏の遊びを十分に楽しみ、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・夏の自然事象や身近な動植物に触れて、関心を高める。



園庭開放 おはなしの広場

日時 8月2日(水)
9:50~11:00
おはなしの広場
11:00~11:30
23日(水)、30日(水)
対象 未就園児
場所 陸沢こども園園庭
子育て支援室
★気軽に遊びに
きてください。

8月のわくわく広場
はお休みです。

<お願い>

3・4・5歳児のお子さんは、手さげ袋を持ち帰りましたら、次の日に必ずお子さんに持たせてください。また、全園児、着替え袋を持ち帰りましたら、中身の確認と氏名が記入されているかの確認をお願いします。



♡子育てハッピーアドバイス♡

保護者が毎日発する言葉や表情は子どもへの影響がとても大切です。子どもは日々、親の言葉を聞きながら、自分の言動への評価を読み取り、それに応じて自分を作り上げていきます。自分が愛されていることがわかれば心は落ちつき、穏やかになります。他人の気持ちや行動のみちすじについて教えてもらえば、人を思いやり、行動的にもなれます。言葉とは、子どもを育てるための大切な手段なのです。

①自分が受け入れられていることがわかる

心の成長には「愛着」が必要であることがわかっています。愛着とは特定のひととの愛情の絆のことで、何かあったら守ってもらえるという安全感、安心感のことです。「～だから悔しかったんだね」と言った言葉は自分は愛されているということを感じます。親への信頼感は、他人への信頼感にもつながります。穏やかで、他人を信じることができ、相手のことも受け入れられる協調性をもった子どもへと育てよう。

②自信がもてるようになる

私たちは、自己に自信が必要です。自分にも「できる」という感覚も必要です。「すごいね。」「よかったね。」「大丈夫。」「といった言葉は子どもに自信を与えます。これらの言葉は、積極性や向上心にもつながります。たとえ苦手なことがあっても1つでも自信がもてるのであれば、それをきっかけとして苦手を乗り越えることもできます。

③自分自身で考えられるようになる

「どうしてだろう。」「どうすればいいかな。」「○○だから○○になったんだね。」といった親の言葉で、自分や他人の言動を振り返り、結果を思考することができます。今後の予想や見通しももてるようになります。「ダメ。」「早くしなさい。」「だけでは、次も同じようなことをしたり、親がしてくれるのを待たたりするだけになり、依存的にもなります。親への反発や怖さだけがつのり、消極的になったり、逆に乱暴になったりということもあります。

参考文献:PHPのびのび子育て 石川洋子:文教大学教授 著

2歳児(こあら組)の姿

毎日の暑さにも負けず、子どもたちは元気に過ごしています。戸外に遊びに行く時には、カラー帽子をかぶる習慣が身につけてきました。

なかよし広場でのどろんこ遊びや水あそびでは初めて芝生の上を裸足で歩く経験をした子ども達もいて、おそるおそるテラスから下りてチクチクする芝生の感触を味わっていました。芝生の感触やジャリジャリとした砂の感触、ドロドロとした泥の感触、冷たく気持ちの良い水の感触など、身体中を使って色々な感触を感じ取り、夏ならではの遊びを楽しみました。水遊びのための着替えなど、自分で洋服の脱ぎ着をしたり、量ももう少しする子どもの姿がたくさん見られるようになってきました。御家庭でも自分でできることが増えていくように一緒に取り組んでいただきたいと思います。

登園時の身支度では、おうちの方と一緒にタオルと歯磨きセットを保育室内のフックにかけ、少しずつ子ども達がひとりで行えるようになる過程を見守っていただき、そして、できた時にはたくさん褒めて成長を感じていただきたいと思います。



おやつは、自分で食べたい子どもから牛乳とおやつを持って席に座り、自分で袋を開けて食べます。少しずつ自分でできることは、自分で取り組んでいます。自分で開けようとする気持ちをもてるように、できたらくさん褒め、次に自分で挑戦しようとする気持ちももてるようにしています。

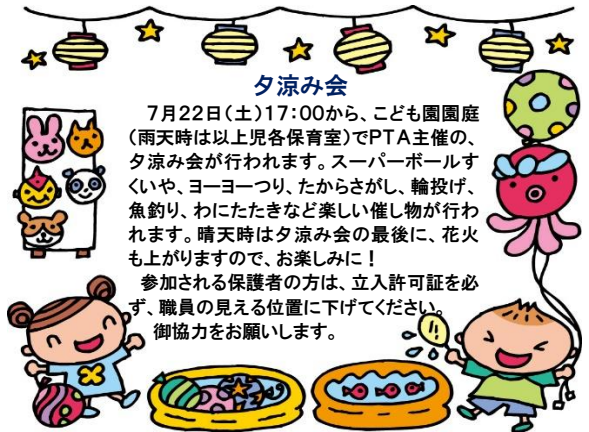
5歳児(ほしつき組)の姿

暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。そんな暑い日には、水遊びやどろんこ遊び、色水遊びに泡遊びなど夏ならではの遊びを思う存分に楽しんでいます。固形石鹸をおろし器で削り、水を入れて泡立てる泡遊び。最初は水を入れすぎたり泡立てが足りなかったりクリーム状にすることが難しい姿も見られましたが、繰り返し遊ぶ中で、自分で気づいたり友達同士で教え合ったりしてクリーム状に近づいてきた子どもが増えてきました。様々な場面で、自分たちで考え試行錯誤しながら取り組む姿に成長を感じます。今後も、子どもたちが自分で考えて行動していけるように、1人1人の考えを尊重していきながら考える力を育てていけたらと思います。

暑い日が続きますが、熱中症に気を付けながら、夏ならではの遊びをたくさん取り入れ、快適に楽しく過ごせるようにしていきたいと思ひます。



誕生会で5歳児は3歳児や未満児と一緒に、ふれあい遊びをしました。初めは、どう接したらいいのか分からない子どももいましたが、一緒に遊ぶと、お互い笑顔で、目を合わせる姿が見られました。自分より小さい友達の目線に合わせて膝を曲げて、話をする姿もあり異年齢での交流の大切さを感じました。



夕涼み会

7月22日(土)17:00から、こども園園庭(雨天時は以上児各保育室)でPTA主催の、夕涼み会が行われます。スーパーボールすくい、ヨーヨーつり、たからさがし、輪投げ、魚釣り、わにたたきなど楽しい催し物が行われます。晴天時は夕涼み会の最後に、花火も上がりますので、お楽しみに!

参加される保護者の方は、立入許可証を必ず、職員の見える位置に下げてくださいます。御協力をお願いします。

8月の歌♪

- ・みずあそび(0~5歳児向き) ・しゃぼんだま(0~5歳児向き)
- ・うみ(0~5歳児向き) ・おぼけなんてないさ(2~5歳児向き)
- ・てのひらをたいように(4・5歳児向き)
- ・南の島のハメハメハ大王(4・5歳児向き)

お家でも歌ってみましょう!